

ブラックレイの男爵

- 1 インバレイがディーサイドに口笛を吹き吹きやってきました
夜明け前にブラックレイの城に着きました
- 2 インバレイは吠えるように怒鳴りました
「さあブラックレイ 戸をあける」
- 3 「眠っているのか 起きているのか 男爵よ
俺たちの剣がおまえの血を啜^すろうと待っている
- 4 「ブラックレイ 戸をあけて中にいれろ
いうことを聞かないと 血が流れることになる」
- 5 勇敢な男爵は城の中からいきました
「略奪しようとやってきたのか」
- 6 「紳士ならば入ってこい
一杯飲めば 血など流れるはずがない
- 7 「雇われの悪党ならば とっととうせろ
ローランドで 肥えた牛を盗むがいい
- 8 「家でも土地でも手当たりしだいに略奪し
山賊の一味のように振舞うがいい
- 9 「紳士ならば入ってこい
それぞれに肉と酒とを振舞おう
- 10 「雇われの悪党ならば とっととうせろ
ローランドで家を荒らし 牛を盗むがいい」
- 11 奥で寝ていたブラックレイ夫人がいました
「さあ あなた 「怖」がることなどありません
男のなりをしていても 青二才にすぎません」
- 12 「ペギー キスをしておくれ
そのうちインバレイには会いにゆくから
- 13 「ペギー黙って 今はやりたいようにさせておけ
連中は虚勢を張っているだけだから」
- 14 侍女たちはすぐに夫人のもとに呼ばれました
「糸巻き棒で いうことを聞かせてやりましょう
- 15 「さあ あなた 牛を取り戻してやりましょう
あんなやつらの相手なら 女だけでも十分です
- 16 「さあ あいつらに目にももの見せてやりましょう
戦えば 腰抜けどもは逃げるでしょう

- 17 「わたしの夫は女でしようか
男なら おめおめと牛を盗まれるはずがない」
- 18 「グレンタナーの森には
二十四頭の白い子牛と十二頭の雌牛がいます
すべてインバレイの若造にやるのですか」
- 19 「エトナックの丘には山羊と羊がいます
すべてインバレイの若造にやるのですか」
- 20 「ペギー黙って 銃を持っておいで
送ってくれても 二度と帰ることはない
- 21 「弟ウィリアムと叔父を呼んでくれ
いとこのジェイムズ・ゴードンも連れてゆこう」
- 22 ブラックレイは用意を整え門の前に立ちました
こんなに勇敢な男爵を見たことはありません
- 23 皆が城の芝生に集まったとき
ブラックレイほど勇敢な人はいませんでした
- 24 「……
帰れウィリアム 君は花婿なのだから
- 25 「花嫁は粉屋の娘 きれいなジーン・ゴードン
ジーンはため息と涙にくれるだろう」
- 26 「兄さん これは男気が試されるとき
わたしは男だ 命の限り戦おう
- 27 「兄さん わたしは全身全霊で戦おう
粉屋の息子ハリーだってそうだろう
- 28 「けれども兄さんはすぐに帰ってくれ
兄さんが殺されたら 義姉^{ねえ}さんが一人残される
- 29 「義姉^{ねえ}さんとかわいい息子が残される
父^てなし子では かわいそう」
- 30 「帰るものか わたしが逃げるとでも思ったか
ここで戦い ここで死のう」
- 31 インバレイは怒鳴りました
「さあ犬どもをやっつけろ 死ぬ気で戦え
俺たちや四百人 向こうはたったの四人だけ
- 32 「かかってこい おまえらの名誉は消え失せた
おまえらの領地を荒らし 城は灰にしてやろう」

- 33 エトナツクの頂上で戦いが始まりました
リトル・オーコルジーで一人目が殺されました
- 34 一人目のすぐ後に 二人目も殺されました
勇ましいブラックレイも 四人とも殺されました
- 35 インバレイが殺したのは
ウイリアム・ゴードンとノックスのジェイムズ
グレミツクの勇敢な若い盛りのアレクサンダー
- 36 卑劣にも殺されたブラックレイのために
谷にはため息がこだましました
- 37 「お城へいって 中へ入ってみましたか
きれいなペギーは髪をかきむっていましたか」
- 38 「ブラックレイの城へゆきました
城の中では 夫人が髪を結っていました
- 39 「楽しそうに喜び 踊り 歌っていました
その晩インバレイにご馳走するといいました
- 40 「インバレイを歓迎し 一緒に飲んで食べました
夫を殺した男に親切でした」
- 41 乳母の膝の上で息子がいいました
「大人になつたら きつと敵をとってやる」
- 42 台所には悲しみが 広間には笑いがありました
ブラックレイの男爵は死んでいなくなりました